

音韻調查報告書附記

目次

- 一、東京府音韻調查報告書附記
- 二、東京府豐多摩郡音韻調查報告書附記
- 三、茨城縣音韻調查報告書附記
- 四、栃木縣音韻調查報告書附記
- 五、岩手縣音韻調查報告書附記
- 六、山形縣西村山郡音韻調查報告書附記
- 七、山形縣北村山郡音韻調查報告書附記
- 八、山形縣最上郡音韻調查報告書附記
- 九、愛知縣第一師範學校音韻調查報告書附記
- 十、愛知縣八名郡音韻調查報告書附記
- 十一、島根縣簸川郡音韻調查報告書附記
- 十二、岡山縣立高梁中學校音韻調查報告書附記
- 十三、佐賀縣立小城中學校音韻調查報告書附記
- 十四、宮崎縣音韻調查報告書附記
- 十五、宮崎縣立都城中學校音韻調查報告書附記
- 十六、沖繩縣音韻調查報告書附記

東京府音韻調查報告書附記

東京府女子師範學校教諭

龜山玄明調查

一音節

二音節

東京府音韻調査報告書附記

東京府女子師範學校教諭

龜山 玄明 調査

東京府下八郡ニ於ケル發音ノ狀況ヲ八郡ヨリ差出タル別冊取調書ニ依リ調査シタルニ其ノ音韻ノ變化ニ區別アルコト大凡左ノ如シ

第一、母韻同化

第二、發音ノ場所ヲ變フルコト

第三、隨伴音yヲ加フルコト

第四、隨伴音wヲ加フルコト

第五、母韻 i、e、o、a ノ前ニ於テwヲ省クコト

第六、dji dzu ノdヲ省クコト

第七、有聲音ヲ無聲音ニ變フルコト

第八、無聲音ヲ有聲音ニ變フルコト

第九、鼻音ニ變フルコト

今更ニ之ヲ表ニ製シ順次説明スルコト左ノ如シ

第一、母韻同化

八郡ノ音韻調書ヲ檢スルニ二個ノ母韻ノ相並ブ時二者全ク同化シテ一長音節ト成レルモノアリ或ハ未ダ一音節ニ歸セズ尙二音節トシテ發音セルモ其ノ一ノ音ハ他ノ音ニ全ク同ジキカ或ハ較々類似セルモノニ變化セルモノアリ是レハ音節ニコソ差違アレドモ均シク母韻同化ナリ之ニ反シテ二音全ク孤立シ原音ノママ二音節トシテ發音セルモノアリ是レ母韻不同化ナリ今之ヲ類別シテ列擧スルコト左ノ如シ

一音節

二音節

1. a + a = ā	a + a = a-a
2. i + i = ī	i + i = i-i
3. u + u = ū	u + u = u-u
4. e + i = ē	e + i = e-i
	e + i = e-e
5. a + u = ō	a + u = a-u
	a + u = o-o
6. e + u = yō	e + u = yō-u
	e + u = yō-o
7. o + u = ō	o + u = o-u
	o + u = o-o
8. o + o = ō	o + o = o-o

(1) a + a = ā a + a = a-a

南多摩、豊多摩、北多摩、北豊島、南葛飾、荏原、南足立郡ハ「あゝいふ事」「さあ行かう」「ナドノ」「あゝ」「さあ」「ア」「サー」ト一個ノ長音節ニ發ス

但シ西多摩ハ音韻取調事項第一條ノ全部(丁寧ニイフ時、對手ノ貴キ時、心靜カナル時ニ限ル)南足立ハ「あゝ云ふ事」ノ「あゝ」ニ限リ二音節ニ發音ス

(2) a + i = ai a + i = a-i

八郡中南足立、西多摩ヲ除ク外「いひ出す」「おほきい」「ナドノ」「いひ」「さい」「ア」「イー」「キー」ト一個ノ長音節ニ發音ス

但シ北多摩ハ第二條ノ「みいり」「北豊島ハ「もちゐる」(之ニ疑アリ)荏原ハ「さいろ」「しひ」「しひて」「もちゐる」ニ限リ

南足立西多摩ハ第二條全部ヲ二音節ニ發ス(西多摩モ急ニイフ時ハ一音節ナリ)

(3) ㇿ+ㇿ=ㇿ ㇿ+ㇿ=ㇿ

豊多摩、北多摩、北豊島、南葛飾、荏原五郡ハ「くふ」(食)「すふ」(吸)ナドヲ「ク」ス「ナド」、一個ノ長音節ニ發ス

但シ南多摩ハ「うれしう」「あつう」「ゆふべ」「ぐうく」「ニ限リ(其他ハ疑ハシ)豊多摩、北多摩ハ「くふ」「すふ」「ぬふ」ニ限リ荏原ハ「くふ」「すふ」「ぬふ」「うれしう」「さむう」ニ限リ南足立西多摩(丁寧ニ言フ時ナドニ限リ)ハ第三條全部ヲ

「ウ」列ノ音ニ「ウ」ヲ附ケテ一個ノ音節ニ發音ス

(4) ㇿ+ㇿ=ㇿ ㇿ+ㇿ=ㇿ

八郡中荏原ヲ除ク外「めひ」「かれひ」「けいさつ」「ていねい」「ナドノ「メイ」「レイ」「ケイ」「テイ」「メ」「レー」「ケー」「テー」ト一個ノ長音節ニ發ス

但シ南多摩郡ハ加住村地方ニ限リ「メエ」「レエ」「ケエ」「テエ」ト二音節ニ言ヒ荏原ハ第五條第六條全部ヲ「メイ」「レイ」「ケイ」「テイ」ト二音節ニ發シ西多摩ハ教育アル者ニ限リ第五條ノ語ヲ「メイ」「レイ」ト二音節ニ發シ第六條ノハ丁寧ニイフ時對手ノ貴キ時心静カナル時ニ限リ「ケエ」「テエ」ト二音節ニ發ス

(5) ㇿ+ㇿ=ㇿ ㇿ+ㇿ=ㇿ

此ノ條ハ二様ニ分チテイフベシ

a、第七條(名詞、代名詞、形容詞、接續詞、助動詞ト組立テタル動詞)ノハ八郡中、南足立西多摩ヲ除ク外「あふぎ」

「シヨオ」ト二音節ニ發音ス

但シ西多摩ハ丁寧ニイフキナドニ限リ右ノ外「ゑふ」「モ

「かう」「あかう」「さう」「たうげ」「きらう」「ナドノ「あふ」「かう」「さう」「たう」「らう」ヲ「オー」「ョー」「ソ」ト「ロー」ト一個ノ長音節ニ發音ス

但シ荏原ハ「はうき」「きらう」「はう」「らう」ニ限リ「ホオキ」「キロオ」ト「オ」列ノ音ニ「オ」ヲ附シテ二音節ニ發シ南足立、西多摩ハ(西多摩ハ急ニイフ場合ヲ除ク)凡テ「オ、ギ」「コオ」「アコオ」「イコオ」「ソオ」「トオゲ」「ホオキ」「モオス」「ヨオカ」「キロオ」ノ如ク「オ」列ノ音ニ「オ」ヲ附ケテ二音節ニ發音ス

b、第九條(動詞)ノハ八郡中、北豊島、南葛飾ヲ除ク外「あふ」「かふ」「やしなふ」ナドノ「あふ」「かふ」「なふ」ハ「アウ」

「カウ」「ナウ」ト「ア」列ノ音ニ「ウ」ヲ附ケテ發ス

但シ荏原ハ「あふ」「やしなふ」ニ限リ「オ、」「ヤシノオ」ト「オ」列ノ音ニ「オ」ヲ附ケテ發音ス

(6) ㇿ+ㇿ=ㇿ ㇿ+ㇿ=ㇿ

此ノ條ハ三様ニ分チテイフベシ

a、南多摩、豊多摩、北多摩、北豊島、南葛飾郡ハ「せう」(將爲)「けふ」(今日)「ゑふ」(醉)ナドノ「せう」「けふ」「ゑふ」ヲ「シヨ」「キョ」ト「ョ」ト一個ノ長音節ニ發音ス

但シ豊多摩、北多摩ハ「ゑふ」ニ限リ「ヨウ」ト二音節ニ發音ス

b、豊多摩、北多摩、荏原、南足立ハ「ゑふ」ニ限リ「ヨウ」ト二音節ニ發音ス

c、北多摩、荏原、南足立、西多摩ハ「けふ」「せう」ヲ「キョオ」

發音ノ場所ヲ變フルモノニ四様アリ

ㇿ+ㇿ=ㇿ

a、第七條（名詞、代名詞、形容詞、接續詞、助動詞ト組立テタル動詞）ノハ八郡中、南足立西多摩ヲ除ク外「あふぎ」

「シヨオ」ト一音節ニ發音ス

但シ西多摩ハ丁寧ニイフキナドニ限り右ノ外「るふ」モ「ヨオ」ト發音ス

(7) o + u = o o + u = o + u
 r = o + o

此ノ條モ三様ニ分レタリ

a、南多摩、北多摩、北豊島、南葛飾、荏原ハ「おふ」（追）
 「どうぞ」（何卒）「きのふ」（昨日）「もうひとつ」（今一）「おもふ」（思）ナドノ「おふ」「どう」「のふ」「もう」ヲ「オー」「ドー」「ノー」「モー」ト一音節ニ發音ス

但シ荏原ハ「どうぞ」「もうひとつ」ニ限ル

b、豊多摩ハ「おふ」ニ限り「オウ」ト發音シ荏原、南足立ハ「おふ」「おもふ」ニ限り「オウ」「オモウ」ト發音ス

c、北多摩ハ「きのふ」「おもふ」ヲ「キノオ」「オモオ」荏原ハ「きのふ」ヲ「キノオ」南足立ハ「おもふ」「おふ」ヲ「オモオ」
 「オ、」西多摩ハ丁寧ニ云フ時對手ノ貴キ時心靜カナル時ニ限り「オ、」「ドオゾ」「キノオ」「オモオ」ト「オ」列ノ音ニ「オ」ヲ附ケテ發音ス

(8) o + o = o o + o = o + o o + o

a、八郡中南足立、西多摩ヲ除ク外ハ「おほい」（多）ノ「おほ」ヲ「オー」ト一個ノ長音節ニ發音ス
 b、南足立ハ「おほい」ヲ「オ、イ」ト二音節ニ發音シ西多摩ハ丁寧ニイフ時ナドニ限り亦「オ、」ト二音節ニ發音ス

第二、發音ノ場所ヲ變フルコト

二音節ニ發音ス
 c、北多摩、荏原、南足立、西多摩ハ「けふ」「せう」ヲ「キョオ」

發音ノ場所ヲ變フルモノニ四様アリ

1. i = e
2. e = i
3. u = o
4. u = i

- (1) 南多摩、北多摩、北豊島、南足立、西多摩ハ「せに」（錢）ヲ「ゼネ」ト發音シ南足立ハ又「いぬ」（犬）ヲ「エヌ」トイフ
- (2) 北多摩ニテハ「えじり」（江尻？）「えだ」（枝）ヲ「イジリ」「イダ」ト發音シ北豊島、南足立ニテモ「えだ」ヲ「イダ」ト發音シ南葛飾ニテハ「えだ」「かせ」ヲ「イダ」「カジ」ト云フ
- (3) 北多摩ニ於テハ「いぬ」ヲ「イノ」「エノ」トモイヘリ
- (4) 南多摩郡ニテハ「むしろ」（蕪）ヲ「ミシロ」ト發音セル所アリ

第三、隨伴音ヲ加フルコト

是レニハ七ノ場合アリ

- (1) a + a = a-ya
 八郡皆「ばあひ」（場合）ヲ「バイ」ト發音ス
- (2) a + e = a-ye
 南多摩郡ニ限り「まへ」（前）ヲ「マイ」トイフ
- (3) i + a = i-ya
 八郡皆「みあひ」（見合）「にあふ」（似合）ヲ「ミヤイ」「ニヤウ」ト發音ス
- (4) i + e = i-ye
 豊多摩、南葛飾、南足立ハ「みえる」（見）「いちるん」（一圓）ナ

○本ノマ、
ドノ「え」ヲ「イ」トイフ

但シ北豊島郡ハ「みえる」ノ「え」ニ限リ「イ」トイフ

(5) e + a = e-ya

南多摩、豊多摩、北多摩、北豊島、南葛飾、荏原、南足立、
西多摩八郡皆「うけあひ」(請合)ヲ「ウケヤイ」ト發音ス

(6) u + e = u-ye

豊多摩、南葛飾、南足立ハ「ふえ」(笛)「ゆるゑ」(故)ノ「え」
ヲ「イ」ト發音ス

(7) o + e = o-ye

南葛飾、南足立ハ「こえる」(越)ノ「え」ヲ「イ」ト發音ス

第四、隨伴音wヲ加フルコト

八郡皆「ぐあひ」(工合)「たくあん」(澤庵)ナドノ「あ」ヲ「ワ」ト發
音ス

但シ荏原ハ「ぐあひ」(工合)ニ限リ「グワイ」ト言ハズ

第五、母韻i、e、o、a、ノ前ニ於テwヲ省ク

是レハ各郡皆然リ

但シ北多摩郡ノ一部ハ「うを」(魚)「あを」(青)「しをん」(紫苑)
豆爾遠波ノ「を」ヲ皆「ワ」ト發音セリ

第六、dji dzu ノdヲ省クコト

各郡皆「あぢ」(味)「をぢ」(叔父)ナドノ「ぢ」ヲ「ジ」ト發音ス

但シ北豊島郡ハ「ぢ」ヲ「ジ」ト發音セザルノミナラズ本來「じ」

b、豊多摩、北多摩、南足立ハ「あぶぐ」(煽)「うへ」(上)「か

ほ」(顔)「にほふ」(臭)「しほ」(鹽)ナドノ「ふ」ハ「ほ」ヲwo

トイフベキ音ヲモ「ヂ」トイヘリト調書ニアリ

各郡「くづ」(屑)「つゞみ」(鼓)ナドノ「づ」ヲ「ズ」ト發音セルコト
前項ニ同ジ

但シ北豊島郡ハ「づ」ヲ「ズ」ト言ハザルノミナラズ本來「ず」ト言
フベキモノヲモ「ヅ」ト云フトナリ

第七、有聲音ヲ無聲音ニ發ス

八郡皆「かゆ」(粥)「あゆ」(鮎)「まゆ」(眉)「ゆはへる」(結)ナドノ
「ゆ」ヲ「イ」ト發音セリ

但シ南多摩郡ハ「ゆはへる」ノ「ゆ」ニ限リ「イ」ト發音セズ原ノマ
マ「ユ」トイヒ西多摩郡ハ「かゆ」「ゆはへる」ノ「ゆ」ニ限リ中等社
會ニ於テ「イ」ト發シ其他ハ「かゆ」ヲ「ケエー」「あゆ」ヲ「アヨ」
「まゆ」ヲ「マミヤ」ト發音セリ又荏原ハ「マユ」ニ限リ「マイ」ト
發音セズ正シク「マユ」トイヘリ

第八、鼻音ニ變ズ

八郡中南葛飾、荏原郡ノ外「まがる」(曲)「みぎ」(右)ナドノga gi
ヲngangiト鼻音ニ發ス

但シ西多摩郡ノ西部山間ノ多摩川溪流ニ沿ヘル地方ニ限ル

第九、無聲音ヲ有聲音ニ變ズ

是レニ四ノ場合アリ

a、南多摩郡ハ「ぬはう」(將縫)「くはう」(將食)ナドノ「はう」ヲ

wo-o 又ハwōト發音ス

ハ「シヨ」ト發音シ「ぬはう」「くはう」ナドノ「はう」ハwōト發

音ス

各郡皆「あぢ」(味)「をぢ」(叔父)ナドノ「ぢ」ヲ「ジ」ト發音ス
但シ北豊島郡ハ「ぢ」ヲ「ジ」ト發音セザルノミナラズ本來「じ」

a、南多摩ハ「ぬはう」(將縫)「くはう」(將食)ナドノ「はう」ヲ
wo-o 又ハwōト發音ス

b、豊多摩、北多摩、南足立ハ「あふぐ」(煽)「うへ」(上)「か
ほ」(顔)「にほふ」(臭)「しほ」(鹽)ナドノ「ふ」へ「ほ」ヲ we
woト發音シ又「ぬはう」「くはう」ナドノ「はう」ヲ wōト發音ス
但シ豊多摩ニ限りweto發音セズ
c、北豊島ハ「あふぐ」ヲ「アオグ」「うへ」ヲ「ウエ」「かほ」ヲ
「カオ」「にほふ」ヲ「ニオ」又ハ「ニゴ」しほ」ヲ「シオ」又

ハ「シヨ」ト發音シ「ぬはう」「くはう」ナドノ「はう」ハwōト發
音ス
d、西多摩ハ「あふぐ」ヲ「アオグ」「うへ」ヲ「ウエ」「かほ」ヲ
「カオ」「にほふ」ヲ「ニゴ」しほ」ヲ「シヨ」ト發音セリ又
「ぬはう」「くはう」ナドノ「はう」ハ丁寧ニイフ時、對手ノ貴
キ時、心靜カナル時ニ限りwo-oト發音セリ

郡名 音の變化	南多摩	豊多摩	北多摩	北豊島	南葛飾	荏原	南足立	西多摩
一音節	a+a=ā	“	“	“	“	“	“*	
	i+i=i	“	“*	“*	“	“*		
	u+u=ū [?] *	u+u=ū [?] *	“*	“	“	“*		
	e+i=e [̄] *	“	“	“	“	“	“	“*
	a+u=ō	“	“	“	“	“*		
	e+u=yō	“*	“*	“	“			
	o+u=ō		“	“	“	“*		
	o+o=ō	“	“	“	“	“		
二音節							a+a= a-a*	“*
						i+i=i-i *	“	“*
	u+u= u-u.*	“*	“*			“*	“	“*
						e+i=e-i		e+i=e-e.
	a+u= a-u.	“	“			“*	“	“
						a+u= o-o.	“	“
		e+u= yo-u.				“	“	“
			e+u= yo-o.			“	“	“
		o+u= o-u*				“*	“*	
			o+u= o-o.			“*	“	“*
						o+o= o-o.	“*	

東京府豊多摩郡音韻調査報告書附記

郡名 音の變化	南多摩	豊多摩	北多摩	北豊島	南葛飾	荏原	南足立	西多摩
發音の場所を變ふ	i=e		i=e e=i	“ “*	e=i		i=e e=i	i=e
	u=i*		(u=o.)					
隨伴音 y を加ふ	a+a= a-ya.	“	“	“	“	“	“	“
	a+e= a-ye.							
	i+a= i-ya.	“	“	“	“	“	“	“
		i+e= i-ye.		“*	“		“	
	e+a= e-ya.	“	“	“	“	“	“	“
		u+e= u-ye.				“	“	
					o+e= o-ye.=		“	
同じく w を加ふ	u+a= u-wa.	“	“	“	“	“*	“	“
i. e. o. a. の前に於 て w を省く	wi=i	“	“	“	“	“	“	“
	we=e	“	“	“	“	“	“	“
	wo=o	“	“*	“	“	“	“	“
	wa=a	“	“	“	“	“	“	“
dji, dzu の d を省 く		dji=i	“	(dji=dji)	“	“		“
				(ji=dji)				
		dzu=zu	“	(dzu=dzu)	“	“	“	“
			(zu=dzu)					
有聲を無聲音に 變ず	yu=i*	“	“	“	“	“*	“	“*
鼻音に變ず	g=ng.	“	“	“			“	“*
無聲音を有聲音 に變ず	f=w	“	“	“			“	“*
				h+o= go.				“
				shi+ho =syo.				“

音の
發音の
隨伴音
同じく
i. e. o. a
てwを
dji, dz
く
有聲を
變ず
鼻音
無聲を
變ず

東京府豊多摩郡音韻調査報告書附記

音韻取調ニ關シテ本郡ガ採リシ方針

本郡内使用語ニ付キテ音韻ヲ調査シタル結果左ノ傾向アルコトヲ認メタリ

一、二音節ニ發スルモノハ強勢附最後ニ來ル (Last accent)

二、一個ノ長音節ニ發スルモノハ強勢附ヲ付セス (No accent)

中 九 條 第 三 條 中
スルモノニ發スルモノ
イーダス
シー
ウレシュー
サムー

此方針ニ基キテ音韻ヲ調査シタリ

中 九 條 第 三 條 中
スルモノニ發スルモノ
ク.ウ' ス.ウ' ア.ウ' カ.ウ'
(食) (吸) (逢) (買)

茨城縣音韻調査報告書附記

「ウ」列ノ音ト「オ」列ノ音トヲ變換スルコトアリ

「うさぎ」(兔) 「うどん」(溫飩) 「すそ」(裾) 「ぬま」(沼) 「むこ」(婿)
「ふゆ」(冬) ナドノ「う」「す」「ぬ」「む」「ふ」ヲ「オ」「ソ」「ノ」「モ」

「ヨ」ト發音シ「おに」(鬼) 「あそぶ」(遊) 「のる」(乘) 「もる」(漏)

「よだれ」(涎) 「ふろしき」(風呂敷) ナドノ「お」「そ」の「も」「よ」
「ろ」ヲ「ウ」「ス」「ヌ」「ム」「ユ」「ル」ト發音スルコトアリ

栃木縣音韻調査報告書附記

縣内普通言語ノ狀況ヲ察スルニ「イ」「エ」「キ」ノ四音ハ相混

亂シテ其區別ナク一般ニ「エ」ト發音セリ故ニ

いと(糸) えと(甲乙ノ事) むど(井戸) るど(穢土)
ハ何レモ「エ」ト「エド」ト發音シ

こひ(鯉) こい(故意) こえ(肥料) こゑ(聲)
こへ(バ) (請) こゑ(五位)

ハ何レモ「コエ」「ゴエ」ト發音シ

漢字音ノ

ていねい(丁寧) せいめい(生命)
かいさい(皆濟) あいまい(曖昧)

ハ「テーネー」「セーメー」「カエサエ」「アエマエ」ト發音ス
又從ヒテ

「ゐ」爲「い」伊「え」衣「ゑ」衛ノ區別ナク
 「いん」飲「ゐん」院「えん」烟「ゑん」遠ノ區別モナク
 「ゐき」域「えき」役等ノ區別ナク何レモ「エ」「エン」「エキ」「ト」
 發音ス

○濁音ハ「ジ」「チ」ノ區別ナク「ズ」「ヅ」ノ區別ナシ一般ニ「ジ」「ズ」ト發音ス
 清濁ノ區別頗ル混亂シ清ムベキヲ濁リ濁ルベキヲ清ムハ縣内一般ナリ

岩手縣音韻調査報告書附記

舊仙臺領地方ニ於テハ一般ニ「拾五」「重箱」ナドノ「じふ」「ぢゅ」「ちゅ」ヲ孰レモ「ヅ」「ニ」近ク發音シ「巡查」「珠數」ナドノ「じゅん」「じゆ」「ゆ」「ヅン」「ヅ」ニ近ク發音シ「宮内省」「會議」ナドノ「ない」「ぢゆ」「ゆ」「ヅン」「ヅ」ニ近ク發音シ「宮内省」「會議」ナドノ「ない」

まねく(招) あた(仇)ヲ 「マネグ」「アダ」ト濁ル
 ○拗音ノ「クッ」「グッ」「クワイ」「クワン」「グワン」「グッツ」等ハ皆直音
 「カ」「ガ」「カエ」「カン」「ガン」「ガツ」ト發音スルノミナラズ
 「カイ」トモ發音シ得ズ
 「ジ」「ジュ」「シ」「シユ」ノ別「シン」「シユン」「チ」「チュ」等ノ區別ナク
 中ニハ「キュー」ヲ「キョー」「チュー」ヲ「チー」「ジュー」ヲ「ジー」ト發音スル地方アリ(芳賀郡、下都賀郡南部、河内郡南部等ニシテ下總武藏兩國境ナリ)

山形縣西村山郡音韻調査報告書附記

當地方音韻ノ特異ナル諸點

- 一、「イ」ハ通常「エ」又ハ「イ」ト發音ス
- 二、「ヒ」「キ」ノ轉ジテ「イ」ト發音スル場合ニモ亦「エ」又ハ「イ」ト發音ス
- 三、「カ」ハ息ヲ強ク前口蓋ニ觸レシムルヲ以テ喀痰ノ際ニ於ケル如キ發音ヲナス
- 四、「キ」ハ開口ノ度少ク息ヲ前齒根ニ觸レシムルヲ以テ「チ」ト「キ」トノ中間音ヲ出ス
- 五、「ケ」ハ息ノ觸レ方「キ」ニ於ケルガ如クナルヲ以テ「キ」ト「エ」トノ中間音「エ」「エ」ト「ジュ」トノ中間音「エ」「ジヨ」ト「ヨ」トノ中間音「ヨ」ト發音ス

「くわい」ヲ英字ノ *nāqua* ノ本來ノ音ノ如ク發音ス又「ハ」行ノ五音ハ舊南部領地方ヨリモ一層強ク唇ニカケテ *fa fi fu fo* ト發音ス

- 六、「シ」ハ息ヲ強ク前齒ニ觸ル、ヲ以テ *shi* ナル發音ヲナス
- 七、「セ」モ同上ニナルヲ以テ「シユ」ト烈シキ發音ヲナス
- 八、「ハ」「ヒ」「ヘ」「ホ」ハ息ヲ唇ニ觸レシムルヲ以テ「ファ」「ファイ」「フエ」「フォ」即チ *Fa Fi Fe Fo* ト發音スルモノ間々見ルトコロナリ
- 九、「ヒ」ハ又大抵「シ」ト發音ス例ヘバ「人」ヲ「シト」「火箸」ヲ「シバス」ト云フガ如シ
- 十、「フ」ハ輕ク *hu* ト發音セラル、場合多シ
- 十一、「ヤ」「ユ」「エ」「ヨ」ハ「ジャ」「ト」「ヤ」トノ中間音「ヤ」「ジユ」ト
- 十七、「ヨ」ノ音「キ」「シ」「チ」「ツ」「ヒ」ノツギニアルトキハ「シヨ」ト發音スルコトアリ

四、「キ」トノ中間音ヲ出ス
五、「ケ」ハ息ノ觸レ方「キ」ニ於ケルガ如クナルヲ以テ「キ」ト

十、「フ」ハ輕ク hu ト發音セラル、場合多シ
十一、「ヤ」「ユ」「エ」「ヨ」ハ「ジャ」ト「ヤ」トノ中間音「ヤ」「ジュ」ト

「ユ」トノ中間音「エ」「エ」ト「ジエ」トノ中間音「エ」「ジヨ」ト
「ヨ」トノ中間音「ヨ」ト發音ス

十七、「ヨ」ノ音「キ」「シ」「チ」「ツ」「ヒ」ノツギニアルトキハ
「シヨ」ト發音スルコトアリ

十二、「エ」即チ we 「エ」「エ」此ノ三者區別ナク變換發音セラル
十三、「ワ」「キ」「ウ」「エ」「ヨ」ハ「ウア」「ウイ」「ウウ」「ウエ」「ウオ」即

十八、「ワ」及「ハ」ヲ「ワ」ト發音スベキモノ「ク」ノツギニアルト
キハ「ファ」ト發音スルコトアリ

チ wa wi wu we wo ト發音ス
「エ」ハ又前ニ云ヘル如ク「エ」又ハ「エ」トモ發音ス

十九、撥音「ン」及促音「ツ」ノ次ニアル「サ」ハ「ツァ」トナルコト
アリ

十四、「カ」行「タ」行ノ清音ニシテ語ノ中間或ハ下ニアルトキハ
濁音トナルコト多シ

二十、「シ」「チ」「ハ」「ス」「ツ」ト發音ス
二十一、「ジ」「ヂ」「ハ」「ウ」列ノ音ニ變換シ「ズ」ト「ヅ」トノ中間音
トナル

十五、此ノ場合ニハ時トシテハ鼻音トナルコトアリ
十六、語ノ中間或ハ下ニアル濁音ハ「ガ」「ザ」「ダ」「バ」行ノ各音
共ニ鼻音或ハ微鼻音トナルコト多シ

二十二、「ニ」「ジ」(虹)ヲ「ノ」「ヅ」「ミノ」(簑)ヲ「ミ」「ヌ」「ヌマ」(沼)ヲ
「ノ」「マ」ナド變換發音スルコトアリ

山形縣北村山郡音韻調查報告書附記

一、當地方ノ發音ハ語ノ右傍ニ片假名ヲ以テ示セリ
一、當地方ニテ發音セザル語ハ語ノ右傍ニ縦線(——)ヲ以テ示
セリ

一、語ノ左傍ニ縦線(——)ヲ施シ平假名ニテ併記セルモノハ二
者混用ヲ示セリ

山形縣最上郡音韻調查報告書附記

一、方言發音中普通假名ヲ以テ寫シガタキモノアリ可及的土音
ニ近キ假名ヲ綴リテ之ヲ付記スルコト、セリ例ヘバ「シ」ノ
如キハ「シ」ニアラズ「ス」ニアラズ全ク其中間ノ發音ナルコ
トヲ示セルモノ又「アンツァ」ノ「アン」ノ如キハ正シク清キ
「アン」ニアラズシテ一種ノ入鼻濁音ノ如キヲ示セルモノナ
リ

一、「ス」ヲ「シ」ト發音シ「ジ」ヲ「ズ」ト發音スルノ類ニシテ因襲
ノ久シキ全ク土音トナリ終ニ假名マデモ誤ルモノ往々コレ
アリ例ヘバ「ヤシナフ」ヲ「ヤスナフ」ト發音シ之ヲ假名ニテ
表ハスニモ亦「ヤスナフ」ト記スルガ如キ是ナリ

(濕病)ヲ「ヒツ」(「て」ノ例ナシ)「しとみ」(葎)ヲ「ヒトミ」ト訛ル
等ノ數語ニ限ル

(遊)ヲ「アスビ」を「かば」(陸稻)ヲ「カブ」かゆい(痒)ヲ「カ
ヨイ」きせる(煙管)ヲ「ケセロ」うぶゆ(産湯)ヲ「オブユ」る
ぐ(繪具)ヲ「エゴ」ぬま(沼)ヲ「ノマ」つむ(紡錘)ヲ「ツモ」
トナス等ノ數語ハ之ヲ訛ル

第十二條 發音ノ便ニヨリテ自然ニ轉倒スルハ「ちがま」(茶
釜)ヲ「チャマガ」「つごも」(晦)ヲ「ツモゴ」「はんげしやう」(半夏
生)ヲ「ハゲン」

第十三條 豆爾遠波ノ「が」ハ連聲ノ便ニヨリテ「ン」ト發音スル
コトアリ例ヘバ「犬が鳴く」ヲ「イヌンナク」「雨が降る」ヲ「アメ
ンフル」トナスガ如シ

第十四條 阿列音ノ後ヲ承クルニ豆爾遠波ノ「を」ヲ以テスル場
合ニハ「を」ノ音ヲバ默シテ該語ノ末尾ノ一音ノ韻ヲ長大ニス例
ヘバ「坂を」ヲ「サカア」「岩を」ヲ「イワア」トナスガ如シ

第十五條 無學文盲ノ下流ノ人ニアリテハ阿列音ヲ承クルニ
「い」音ヲ以テスル場合ニ阿列音ヲ延列音ニ訛ルコト少カラズ例
ヘバ「深い」ヲ「フケー」「菜」ヲ「セー」「太鼓」ヲ「テーク」「無」ヲ
「ネー」「灰」ヲ「ヘー」「枚」ヲ「メー」「來年」ヲ「レーネン」「腋臭」
(わきがノ略轉)ヲ「ウエー」トナスコト東京ノ下流ニ行ハル、モ
ノト全く同ジ又此ノ誤ニ陥ラザランコトヲ欲シテ却リテ延列音
ヲ阿列音ニ誤ルコトアリ例ヘバ「時計」ヲ「トカイ」「出居」ヲ「ダ
イ」「堀」ヲ「ハイ」「名」ヲ「マイ」トナスガ如シ前項ノ誤ハ古代ニ
多ク後項ノ誤ハ當世ニ多シ

第十六條 延列音ノ後ヲ承クルニ豆爾遠波ノ「を」ヲ以テスル時
ハ其「を」ノ音ヲバ明ニ發セズシテ該語ノ末尾ノ一音ト豆爾遠波

第十條 「わ」ヲ「バ」ト訛ルハ「はらわた」(腸)ヲ「ハラバタ」
第十一條 「ウ」列音ト「オ」列音ト變換スルコトナシ但「あそび」

ノ「を」トヲ連結シテ發音ス例ヘバ「笛を」ヲ「フヨー」「竹を」ヲ
「タキョー」「風を」ヲ「カジョー」「筆を」ヲ「フジョー」「稻を」ヲ「イ
ニョー」「苗を」ヲ「ナョー」「夢を」ヲ「ユミョー」「誰を」ヲ「ダリョー」
「杖を」ヲ「ツョー」トナスガ如シ

第十七條 「れ」音ノ後ヲ承クルニ豆爾遠波ノ「は」若クハ「ば」ヲ
以テスル時ハ「は」若クハ「ば」ヲバ明ニ發音セズシテ「れ」ト連結
シテ發音ス例ヘバ「其れは」ヲ「ソリャア」「歸れば」ヲ「カヘリャア」
トナスガ如シ

第十八條 將然言ヲ承クルニ助動詞ノ「む」ヲ以テスル時ハ其
「む」ヲ默シテ動詞ノ末尾ノ一音ノ韻ヲ長大ニシテ之ニ代フ例ヘ
バ「聞かむ」ヲ「キカア」「死なむ」ヲ「シナア」「有らむ」ヲ「アラア」
「受けむ」ヲ「ウケエ」「起きむ」ヲ「オキイ」「着む」ヲ「キイ」「蹴む」
ヲ「ケエ」「來む」ヲ「コオ」「爲む」ヲ「セエ」トナスガ如シ

第十九條 希求言ノ語尾ニ「よ」ヲ添フル場合ニハ其「よ」ヲバ動
詞ノ語尾ノ一音ニ連結シテ拗音ノ如ク發音ス例ヘバ「受けよ」ヲ
「ウキョー」「起きよ」ヲ「オキョー」トナスガ如シ

第二十條 將然言已然言ヲ承クルニ豆爾遠波ノ「ば」ヲ以テスル
時ハ其「ば」ヲバ默シテ其韻ノミヲ動詞ノ語尾ノ一音ニ連結シ拗
音ノ如ク發音ス例ヘバ「聞けば」ヲ「キキャ」「死ねば」ヲ「シ
ニャ」「受ければ」ヲ「ウケリャ」「起きれば」ヲ「オキリャ」「蹴れ
ば」ヲ「ケリャ」「來れば」ヲ「クリャ」「爲れば」ヲ「セリャ」トナス
ガ如シ

第二十一條 「つ」又ハ「ち」ノ音ヲ承クルニ「さ」ノ音ヲ以テスル
トキハ連結シテ「ツァ」ト發音スルコトアリ例ヘバ「おとっさん」

(御父様) ヲ「オトツツァン」「おまつさま」(人名) ヲ「オマツツァマ」
 「佐吉様」(人名) ヲ「サキツツァマ」「をぢさま」(小父様) ヲ「ヲツツァ
 マ」トナスガ如シ但是ハ何レノ場合モカクノ如クナルニハアラ
 ズ「とつさま」(父様)「とつさ」(夫様)「がっさん」(合算)「とつさ」(咄
 嗟)ノ如キハ正シク「さ」ト發音ス又「おとつさん」(御父様)ノ如キ
 ハ「オトツサン」トモ「オトツツァン」トモ兩様ニ發音ス要スルニ此
 連結ハ「さま」(様)トイフ詞ニ限ルモノ、如シ

第二十二條 「つ」音ヲ承クルニ互爾遠波ノ「を」ヲ以テスルトキ
 ハ連結シテ「ツォ」「トイフ例ヘバ」「さつ(札)を」ヲ「サツォー」「なつ
 を」(夏)ヲ「ナツォー」ト云フガ如シ

第二十三條 「つ」音ヲ承クルニ互爾遠波ノ「は」ヲ以テスルトキ
 ハ連結シテ「ツァ」「トイフ例ヘバ」「さつ(札)は」ヲ「サツァー」「なつ
 (夏)は」ヲ「ナツァー」ト云フガ如シ

第二十四條 波行四段ニ活ク語ノ終止段ナル「ふ」「ハ明ニ」「ウ」ト
 發音ス例ヘバ「逢ふ」ヲ「ア・ウ」「買ふ」ヲ「カ・ウ」「綯ふ」ヲ「ナ・
 ウ」「舞ふ」ヲ「マ・ウ」トイヒテ「逢ふ」ヲ「オー」「買ふ」ヲ「コー」
 ナド、様ニ發音スルコトナシ又是ハ四段活用ノ場合ニ限ルコト
 ニテ上二段活用ノ「強ふ」ハ「シヒル」ト云ヒ「下二段活用」ノ「教
 ふ」ハ「ヲシヘル」ト云ヒテ此法ニヨラズ

第二十五條 連用言ナル語尾ノ「ひ」「ハ」之ヲ承クルニ互爾遠波ノ

「て」ヲ以テスル時ハ促音ノ「つ」ノ如ク發音ス例ヘバ「逢ひて」ヲ
 「アツテ」「買ひて」ヲ「カツテ」等トシ「逢ひて」ヲ「オーて」「買ひて」
 ヲ「コーテ」ナドイフコトナシ

第二十六條 動詞ノ語尾ノ「リ」ヲ承クルニ互爾遠波ノ「て」ヲ以
 テスルトキハ「賣りて」ヲ「ウツテ」「刈りて」ヲ「カツテ」「去りて」ヲ
 「サツテ」ト様ニ「リ」ヲ促音ノ「ツ」ノ如ク呼ブ但「借る」ノ一語ハ
 特ニ「かりて」トイヒテ「刈つて」「買つて」ニ別ツ

第二十七條 否定ヲ表ス助動詞ノ「ぬ」「ハ」「ん」ト發音スルコト至
 テ少ク明ニ「ぬ」ト發音シ將然ヲ表ス「む」即「ん」ト分ツ但近來漸
 ク混同ノ傾キアリ

第二十八條 合名詞ノ下部ノ詞ヲ濁ラザルガ如シ例ヘバ「つ
 ゆじも」ヲ「ツユシモ」「くろぼ」ヲ「クロホ」「あがりばな」ヲ「ア
 ガリハナ」「はらがけ」ヲ「ハラカケ」「そごぐち」ヲ「ソデクチ」「ふ
 きぐさ」ヲ「フキクサ」トナスガ如シ

第二十九條 他ノ地方ニテ誤リ濁ル語ニシテ當地ニテハ正シク
 清ミテイフハ「だに」(牛蠶)ヲ「タニ」「かぐ」(缺)ヲ「カク」「ま
 ねぐ」(招)ヲ「マネク」「はじ」(端)ヲ「ハシ」トイフナドナリ

第三十條 五十音中正シク發音シ得ザルハ「ち」「つ」「ゐ」「ゑ」ノ
 四音ナリコレトテモ少シ注意スレバ全ク發音シ得ヌニハアラズ

島根縣簸川郡音韻調査報告書附記

當地方ニ於テハ凡ベテ伊列ノ音ハ舌頭ヲ下ゲ舌上ヲ上ゲテ發音
 シ字列ノ音ハ舌頭ヲ上ゲ舌上ヲ下ゲテ發音スルガ故ニ伊列ノ音

ト字列ノ音トハ殆ド同一ノ口形ニヨリテ發セラレ區別甚ダ不明
 瞭ナリ本文中△符以テ之ヲ表ス即チ「シ」「ス」等ハ「シ」「ニアラ

ズ」「ス」ニアラザル中間音ナリト知ルベシ

當地方ニ於テハ凡ベテ伊列ノ音ハ舌頭ヲ下ゲ舌上ヲ上ゲテ發音シ字列ノ音ハ舌頭ヲ上ゲ舌上ヲ下ゲテ發音スルガ故ニ伊列ノ音

ト字列ノ音トハ殆ド同一ノ口形ニヨリテ發セラレ區別甚ダ不明瞭ナリ本文中△符以テ之ヲ表ス即チ「シ」[△]「ス」[△]等ハ「シ」ニアラ

ズ「ス」ニアラザル中間音ナリト知ルベシ

岡山縣立高粱中學校音韻調查報告書附記

f音ハ「フ」ノ外更ニナケレドモ唯一ツ存スルモノアリ *fai* (乞馬兒)ノ語是ナリ
 「鮎」ノ如キ語ハ明カニ「アイ」ト發音セズ此ノ「ア」ハ「ア」ト「エ」トノ中間ノ音ニテ「アイ」ハ恰モ *(エー)*ノ如ク聞ユ

凡テ「ア」列ノ音ニ「イ」ヲ連ヌルトキ即チ「アイ」「カイ」「サイ」「タイ」ノ音ハ大方「エ」列ノ音ニ近ツク「アエ」「キャエ」「シャエ」「チャエ」ノ如シ但シ「チャエ」ハ *o* 音ナリ

佐賀縣立小城中學校音韻調查報告書附記

諮問條項外參考

訛音ノ部

Zu ヲ Ji ト發スル例

えず 不得 *Eji-i* 語尾ヲ引キテイフ コレ等殊ニ語言ノ終止ヲナストキミナ然リ

こず 不來 *Koji-i*

わからず 不解 *Wakaraji-i*

えすい(恐シノ方言) *Eji-i* *Ehi* トモナル

Su ヲ Shi ト發スル例

すいもの 酸物 *Shi-mono* (すい)ハ又 *shii-yai* トモイフ

すいくわ 西瓜 *Shi-ka*

すいもの 吸物 *Shi-mono*

Shi ヲ Shyu ト發スル例

しよう 仕様 *Shyu*

こしよう 胡椒 *Koshiyu*

Ji ヲ Shi ト發スル例

きふじ 給使 *Kyu-shi*

じふじ 十時 *Jyu-shi*

さじっぶん 十時 *Sa-shippun* コノ外二十四條ノ下ヲ參照ス

Dji ヲ Ri ト發スル例

ぢんのうち 陣内(人姓) *Rin-no-uchi*

I ヲ Ri ト發スル例

こい 鯉 *Koi*

へいたい 兵隊 *Heitari*

Ri ヲ i ト發スル例

はり 針 *Hai*

やり 鎗 *Yai*

こほり 氷 *Koi*

ちりとり 塵取 *Chi-i-toi*

よさり 夜分 *Yosai*

くれごされ 吳御座 *Kui-gozai*

Hi ヲ Fu ト發スル例

ひろふ 拾 *Furu*

かせひく 寒胃 *Kajefuku*

ひしゃく 柄杓 *Fushyaku*

Hi ヲ Pi ト發スルモノ、例

室^{シツ}漢語 *Pitsu*

Ho ノ Fu ニ轉ゼシモノ

ほゝつき 酸醬 *Fuzuki*

Bi ノ Bu ニ轉ゼシモノ

しんぼう 辛抱 *Shinbu*

びんぼう 貧乏 *Binbu*

Ko ノ Ku ニ轉ゼシモノ

こうち 小路 *Kudji*

こうや 紺屋(染屋) *Kūya*

りかう 利口 *Rikū*

I ノ ya ニ轉ゼシモノ

あゐ 藍 *Yā*

かひ 貝 *Kyā*

きちがひ 狂人 *Kichigyā*

だいこん 大根 *Diyākon*

あいらしい愛 *Yarashi-i* *Muzōku*

あきなひ 商 *Akinyā*

いちまい 一枚 *Ichimyā*

はひ 灰 *Hyā* 灰、*Hiyā*

さいて 咲 *Shiyāte*

みるまい 不可見 *Mimmyā*

宮崎縣音韻調査報告書附記

一、取調書ノ集レルモノ宮崎郡十六、東諸縣郡九、北諸縣郡二、東臼杵郡二、其他ハ何レモ豫メ一郡中ヲマトメタルモノナリスベテ八郡八ツ
一、取調方法ハ先ヅ宮崎郡ノ十六ニツキ一個條ヅ、見クラベ其ノ異動ヲ類別シテ各之レヲ十六分シ其割合ヲ見オキ更ニ北

諸縣東臼杵ト漸次同ジ方法ニヨリテ出來上リシモノヲ更ニ八分(八郡ナレバ)シタリ(九、六)(八、五)ナド書キタルハ本縣全體ヲ(一〇)トシテ其割合ヲ示シタルナリ此音過半、此言葉多數ナド記サムカトモ思ヒシカド尙、數ヲ以テスルコトノヨリ正シク明カナルベシト思ヒタレバナリ

宮崎縣立都城中學校音韻調査報告書附記

當地方ノ音韻并ニ口語ハ一般ニ迫促シ節約セラレシモノ多シ例セバ

「たいしやうあんばば」(大昌庵馬場)ヲ 「でしわんば」
「かりてくる」(借りて來る)ヲ 「かってくる」

「ないとう」(内藤)ヲ

「ねつ」

「かいとう」(海東)ヲ

「けつ」ト云フガ如シ

當地方ノ音韻并ニ口語ハ一般ニ迫促シ節約セラレシモノ多シ
例セバ

「ないとう」(内藤)ヲ

「ねつ」

「かいとう」(海東)ヲ

「けつ」ト云フガ如シ

「たいしやうあんばば」(大昌庵馬場)ヲ 「でしわんば」
「かりてくる」(借りて来る)ヲ 「かってくる」

沖繩縣音韻調査報告書附記

普通音ト沖繩音トノ對照

ガ、ギヤ、ヂヤ が	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ、フア は	ナ	タ、テア た	カ、キヤ、チ か	ア
ギ、ヂ ぎ	リ、イ り	イ	ミ、ヒ、ン み	ヒ、フイ ひ	ニ、ニヤ、ン に	チ	キ、チ き	イ	
グ	ウ	ユ、イ ゆ	ム、ン む	フ、フウ ふ	ヌ、ン ぬ	ツ、ツイ つ	ス、スイ す	ウ	
ゲ、ギ、ヂ げ	エ、エ、イ、エ ゑ	レ、リ れ	メ、ミ め	ヘ、ヒ、イ、フエ へ	ネ、ニ ね	テ、テイ て	セ、シ、スイ せ	エ、キ、イ、エ え	
ゴ、グ ご	エ、エ、イ、エ を	ロ、ル ろ	ヨ、ユ、イ よ	ホ、フ、フオ ほ	ノ、ヌ、ン の	ト、トゥ と	ソ、ス、シ、スイ そ	オ、ウ お	

「トゥ」ハ「ト」ヲ
弱ク發音ス

ヲハ「ヲ」ト「ウ」
トノ中間音ナリ

ば	だ	ざ
び	ぢ	じ
ぶ	づ、ヅイ	ず
べ、ビ、ブ	で、デイ	ぜ
ぼ	ど、ドゥ	ぞ

「ドゥ」ハ「ド」ヲ弱
ク發音ス

備考 平假名ハ普通音、片假名ハ沖繩音ニシテ平假名ノミアリ
テ片假名ナキモノハ普通音ト沖繩音トノ相同ジキヲ表シ
又沖繩音ニ二以上ヲ記シタルモノハ二以上ニ發音スルコ
トアルヲ表シタルナリ例ヘバ(オ、ウ)ト記シタルハ(オ)
又ハ(ウ)ト發音スルコトアルヲ表シタルナリ
半濁音ハ普通音ト異ルコトナシ
拗音ハ普通音ト同シキモノ多シ
沖繩音ニハ普通音ハ總テアレドモ夫レ以外ノ音モ前記ノ
通り少カラズ

